



県民公開講演会

10月8日(月・祝) 15:00～16:00 第1会場(アクトシティ浜松 B1F 中ホール)



患者の立場から見た医療

鳥越 俊太郎／ジャーナリスト

【略歴】

1940年3月13日福岡県吉井町(現うきは市)生まれ、1958年3月久留米大附設高校卒、1965年3月京都大学文学部国史学科卒、1965年4月毎日新聞社入社、新潟支局、大阪本社社会部、東京社会部、サンデー毎日編集部、クエーカータウン・フリープレス社に1年職場留学、外信部(テヘラン特派員)、サンデー毎日編集長

1989年8月毎日新聞退社、1989年10月テレビ朝日系列「ザ・スクープ」キャスター、1995年10月～2001年3月同上「サンデージャングル」キャスター、2002年10月～「ザ・スクープスペシャル」キャスター、2002年10月～2011年3月「スーパーモーニング」コメンテーター、2002年10月～2005年3月TBSラジオ「CUBE」、2003年4月～2005年3月関西大学社会学部教授、2004年4月～2005年3月フジテレビ系列「僕らの音楽」、2005年4月～TBSラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」(月曜日)、2008年4月～BS朝日「医療の現場」キャスター、2009年7月～岩谷時子音楽文化振興財団・評議員

【主な受賞】

2001年4月「日本記者クラブ賞」(ザ・スクープの桶川女子大生ストーカー事件報道に対し)、2004年5月「日本ギャラクシー賞報道活動部門大賞」(ザ・スクープスペシャルの警察裏金報道に対し)

【著書】

『あめりか記者修行』(中公文庫)、『異見—鳥越俊太郎のジャーナリズム日誌』(現代人分社)、『桶川女子大生殺人事件』(メディアファクトリー)、『ニュースの職人』(PHP研究所)、『人間力の磨き方』(講談社新書)、『鳥越俊太郎のエンディングノート』(アーススター)、『がん患者』(講談社)(2011年6月30日刊行)